



ふくみんの 突撃インタビュー!

福井赤十字病院 編

「無理なく自分にできることを」

今回は、福井赤十字病院 ボランティア担当の鈴木さんに、病院でのボランティア活動の様子をインタビューしました!



▲福井赤十字病院の担当の鈴木さん

Q どんなボランティア活動がありますか?

A 室内作業と室外作業の2つがあります。室内作業は、ボランティア室にて包帯巻き、衛生材料づくり、検診時用のおしぼりづくり、廊下等の飾り付けなどを行っています。室外作業は、外来の案内・誘導、受付機や精算機の補助、車いす点検などの活動があります。ほかに、ヘアカットやコンサートなど特技を活かしたボランティアの方も活動されています。

Q ボランティアさんへメッセージを!

A 入院患者さんや病気のお子さんのお世話などのイメージをお持ちの方もいらっしゃいますが、当院では、院内のちょっとしたお手伝いをお願いしています。作業の合間にお茶休憩をとりながら、1日10名程のボランティアさんが和気あいあいとした雰囲気の中で活動しています。興味がある方は、ぜひ一度お問い合わせください。

Q 活動時間は決まっていますか?

A 月曜日から金曜日、基本的に午前中(11時30分頃まで)の活動ですが、一部午後の活動もあります。回数や頻度、時間帯は、ご自身のご都合にあわせて活動可能です。

ボランティア活動の希望や問い合わせなどは、下記までお気軽にご相談ください!
<お問い合わせ>

福井赤十字病院 (月見 2-4-1) TEL 36-3630 (代) (医療社会事業課 担当 鈴木さん)



ボランティア 豆知識

収集ボランティアをやってみよう!

～使用済み切手収集編～



気軽にできて、誰かの役に立つボランティアないかな?と考えている方、収集ボランティアに挑戦してみませんか。封筒に貼られている使用済み切手は、捨ててしまえばゴミになりますが、捨てずにとって、取扱団体に送付することで社会貢献になります。

使用済み切手収集のQ & A (NPO法人誕生日ありがとう運動本部の場合)

Q 収集した使用済み切手は、どうなるの?

A 取扱団体に送付され、ストラップやしおりに加工されたり、絵柄でシリーズごとにまとめて切手シートとして収集家に販売されます。収益金は、知的ハンディキャップ問題の社会啓発や運営資金などに充てられています。

Q 使用済み切手は、どんなふうにはがせばいいの?

A 正しい切手の切り取り方は以下のとおりです。
■ 封筒(台紙)から切手をはがさず、切手から5ミリ～1センチ離して切り取る。(切手のギザギザが無くなると使用の範囲が限られます)
■ 消印は残しておく。(収集家の中では消印(押印)も重要な選定箇所になる)
■ 日本の切手と海外の切手は、別々にまとめる。

Q 収集した切手はどうすればいいの?

A 収集団体へ直接送付してください。(送料自己負担)
「NPO法人誕生日ありがとう運動本部」(<http://tanjyobiariga10.web.fc2.com>)
(送付先) 就労継続支援B型 誕生日ありがとう
〒652-0035 神戸市兵庫区西多聞通 1-1-5 川口ビル 1階 TEL 078-360-1257
※他の団体でも使用済み切手を受け付けていますが、団体によって収集の仕方や活用方法は異なる場合があります。ホームページで検索し、送料負担の上送付してください。
※県内の各信用金庫の窓口でも、福祉活動の一環として使用済み切手を受付しています。



▲切り取り方の例